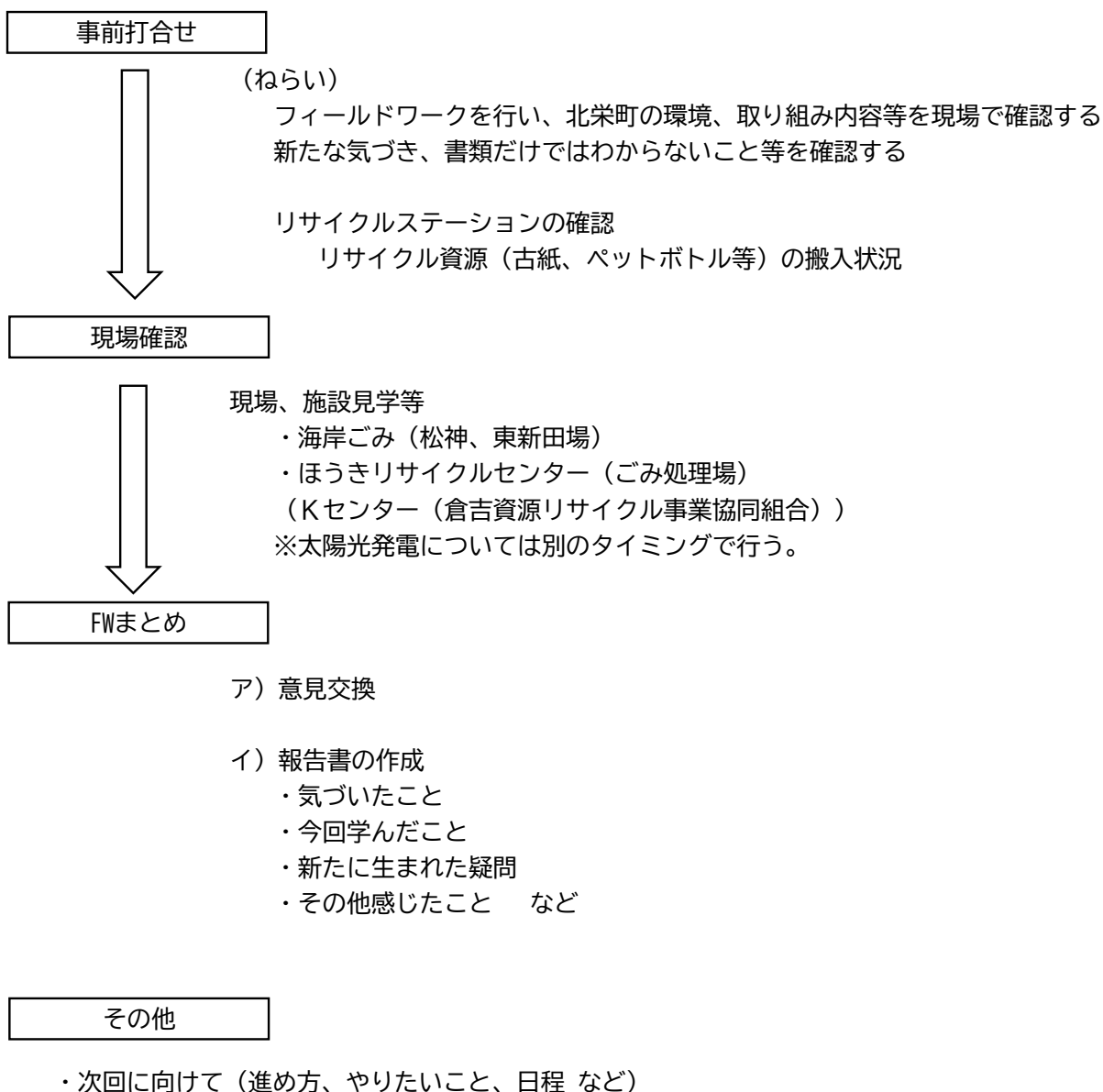


令和5年8月26日（土） 14:00～  
第1回 環境CF0フィールドワーク

場所：改善センター会議室3  
松神、東新田場海岸  
ほうきりサイクルセンター  
（Kセンター）



## 環境F0フィールドワーク日程(案)

8月26日(土)

(役場参加者) 環境エネルギー課 岩本、西川、三谷

時間	内容	詳細	場所	備考
14:00	集合	改善センター 会議室3	大栄庁舎 西側	スマホ、カメラ等準備
14:00-14:25	事前打合せ	自己紹介、当日のねらい説明	改善センター 会議室3	
14:25-14:30	リサイクルステーション	ペットボトル、古紙等の状況確認	大栄庁舎裏 (RS)	
14:30-14:45	移動	海岸へ移動	海岸	(公用車) セレナ、エブライ2955 (丸毛氏) 自車
14:45-15:15	海岸確認	海岸ごみの状況確認	松神→東新田場	松神：抽引網箇所 東新田場：天神川左岸(西側)
15:15-15:30	移動	HRCへ移動	HRC	(公用車) セレナ、エブライ2955 (丸毛氏) 自車
15:30-16:30	HRC見学	HRC見学、ごみの状況確認、説明	HRC	
16:30-17:00	移動	大栄庁舎へ移動 Kセンター前を通って役場	改善センター 会議室3	(公用車) セレナ、エブライ2955 (丸毛氏) 自車 Kセンター：古紙等の収集箇所
17:00-17:30	FWまとめ	ア) 意見交換 イ) FWまとめ 3行程度の報告書を作成(案) ・気づき、学びトップ3 ・新たに生まれた疑問や問い など ⇒北栄町のSNSで発信 ウ) スケジュール等の確認	改善センター 会議室3	

※HRC：ほうきリサイクルセンター、RS：リサイクルステーション

(持ち物)

- ・筆記用具
- ・スマホ(写真用等)

※ない場合は、役場からデジカメをお貸しします。

(その他)

- ・必要があれば、送迎等も行いますので事前に相談をお願いします。
- ・TCC等の取材もある予定

※ご了解をお願いします。

## 【役場準備物】

- ・デジカメ
- ・マイク(海岸現場用)：生涯学習課に借りる
- ・説明資料
- ・FWまとめ報告書用紙
- ・付箋、メモ用紙

# 海岸漂着ごみ

- ◆ 海岸に漂着しているごみの処理をしている
- ◆ 外国の漁具、災害による自然漂着物などを処理

## 海岸清掃

- ・沿岸の16自治会に依頼
- ・ボランティア
- ・処理できないものは町、県で対応

## 漁具等の状況



大雨災害に伴う漂着物(天神川より)



# ほうきりサイクルセンター



◆ 家庭や事業所から出る一般破棄物を焼却処理・破碎処理する  
中間処理施設

【敷地面積】43,410㎡

【着工】平成6年3月

【竣工】平成8年3月

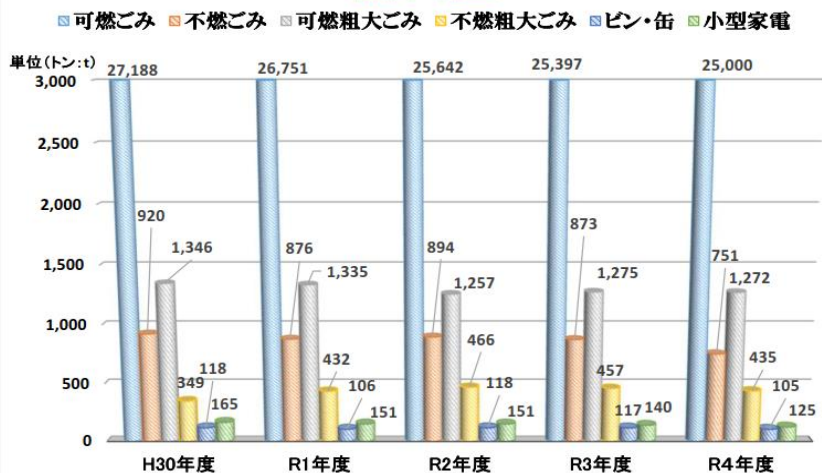
【総事業費】125億7千万円

【施設規模】焼却炉:200t/日(100t/日×2炉)

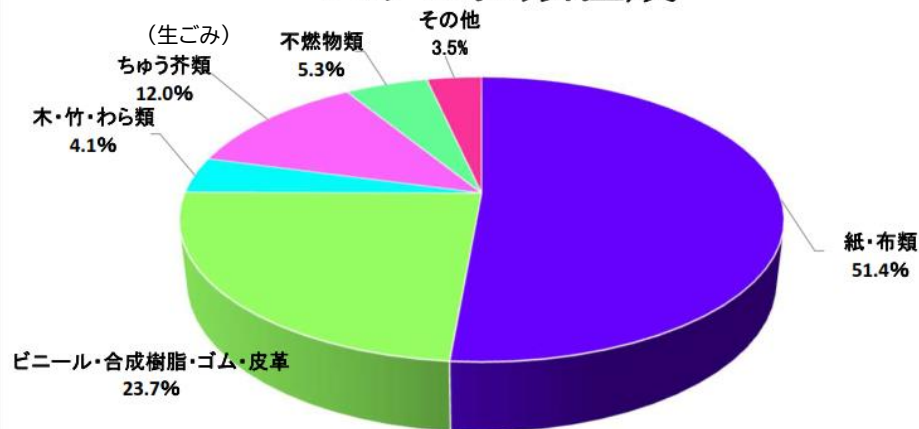
粗大ごみ処理施設:45t/5時間

## グラフで見るごみの変化量

### 搬入量



## ごみの種類組成





# Kセンター(倉吉資源リサイクル事業協同組合)

Kセンターは、鳥取県中部のご家庭や学校などで分別された資源を収集し、リサイクルに必要な加工処理(選別・圧縮・梱包)を行う施設です。



## 北工場

アルミ缶、スチール缶、古着、鉄くずなどの資源が運ばれます。



分別  
資源を正しく分けて下さい。



### 分別

資源を正しく分けて下さい。

### お店

製品がお店などで売られます。



### 圧縮・梱包



古紙やペットボトルなど、多い日には50トン(50,000kg)以上の資源が運ばれます。

## 南工場



### 選別

資源を選別します。



### 圧縮・梱包

ペーラー(古紙梱包機)で資源を圧縮・梱包します。



### Kセンターの設備概要

敷地面積  
3,578.67㎡

北工場	南工場
■D棟(工場棟)の面積 300.00㎡	■A棟(事務棟)の面積 94.59㎡
■B棟(倉庫棟)の面積 84.08㎡	■C棟(工場棟)の面積 450.00㎡
■プレス機(空缶専用).....1基	■ペーラー(古紙梱包機).....1基
■磁選機.....1台	■自動電算計測器.....1基
■4.0tフォークリフト.....1台	■2.0tダンブ.....6台
■コンテナ.....4台	■バックホウ.....1台
■4.0tフォークリフト.....1台	■5.0tフォークリフト.....1台
■3.5tフォークリフト.....1台	■3.0tフォークリフト.....1台
	■ホイールローダ.....1台

R4は麻木村(姫路市)に搬入しているとのこと(ペットボトルをペットボトルにリサイクルしているはず)。R5.7.5 Kセンターが社名変更



# (株)鳥取再資源化研究所

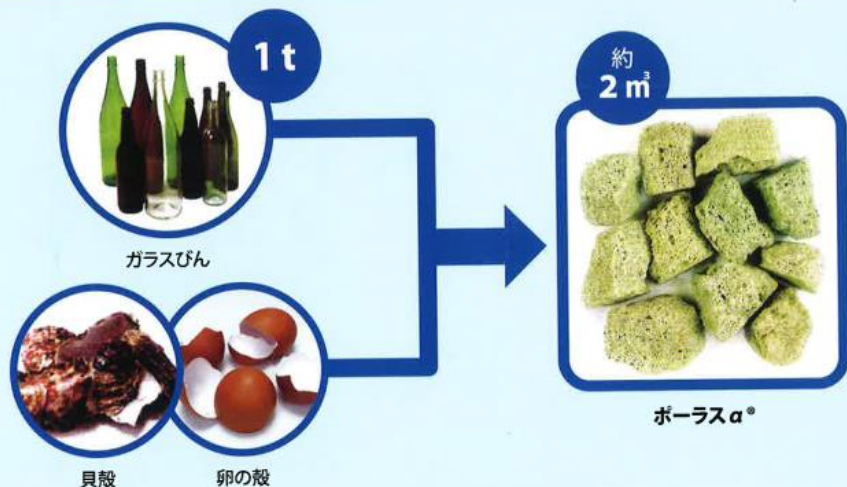


- ◆ 中部管内のガラスびんを集めて「ポラスα」を製造している
- ◆ 太陽光パネルのガラスを無害化し「ポラスα」を製造

## ポラスαの活用例

- ・土壌改良(保水性、通気性向上)
- ・微生物脱臭
- ・水質浄化
- ・軽量段差修正材
- ・防草材

## ■『ポラスα』の製造

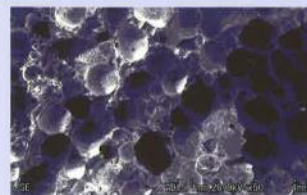


## ◎ 優れた微生物担体 『ポラスα』

一般的にバクテリアの大きさが約 0.5 ～ 5 ミクロン、原生動物が約 5 ～ 250 ミクロン、後生動物が数ミリ以下の大きさであり、これらが共存することで食物連鎖が成り立ち、水質浄化が促進されます。

## ■ 『ポラスα』の物理的構造検証

『ポラスα』の細孔の顕微鏡写真



孔の大きさは約 1 ミクロン以上から大きなもので 5 ミリ程度の不均一な構造となっています。大小様々な大きさの孔を持つため、バクテリア、原生動物、後生動物などの微生物すべてに対し、生息場所を提供することができます。

活性炭の細孔の顕微鏡写真 (比較例)



孔の大きさは小さなもので 1/1000 ミクロン (1 ナノメートル) 以上、大きなもので 20 ミクロン程度の不均一な構造となっています。水道など微量な物質の吸着除去には適していますが、浮遊物質の多い湖、池、河川では目詰まりが発生するため向きです。

令和 5 年 8 月 22 日

## 脱炭素および里地里山（生物多様性保全）へのガラス発泡材の利活用

鳥取再資源化研究所

## 前提

1. ガラス発泡材「ポーラスアルファ」は地域の家庭から出る飲料用ガラスビンのリサイクルして製造されている。
2. 地域内で利活用することで資源循環につながる
3. 大学・自治体と共同開発した独自技術で製造した安心・安全な資材である（土壤環境基準をクリア、国連にも認証）
4. 太陽光パネルガラスも原料として利用できる独自技術を開発している
5. 自治体と連携したこのような取り組みは全国でも例がない。20 年以上前から事業を実施しており、自治体と連携などを含めて、モデルケースとなりうる。

## 利活用方法

## 1. 沿岸生態系および河川生態系の保全

近年沿岸域において磯焼けなどの藻場の減少が問題となっている。藻の減少はそれを餌とする小魚等の減少を招き、ひいては豊かな海洋資源の減少につながる。ガラス発泡資材を沿岸域に投入することにより、藻の定着・成長を促し、藻場を形成できる。コンクリート等と比べて藻の定着率が良好であるとの研究結果もあり、十分に利活用できる。また、環境中に資材を投入するため、環境汚染の影響を考慮する必要があるが、ポーラスアルファは土壤環境基準をクリアした安心・安全な資材であり問題はない。藻場形成による沿岸生態系の保全だけでなく、藻による Co2 の吸収（ブルーカーボン）の蓄積による脱炭素の効果も期待できる。さらに、多孔質素材であるため微生物の活性を向上することができ、水質浄化能も期待できる。

河川においても、アユ等の餌となる藻場の減少は大きな課題となっている。加えて大きな問題は産卵場所の減少による漁獲量の減少は深刻である。沿岸域の場合と同様に、河川にも活用することで、藻場形成・産卵場所の確保、それに伴う漁獲量の増大など生物多様性の保全に寄与でき、ブルーカーボンによる脱炭素、水質浄化も期待できる。

## 2. 土壌改良

ガラス発泡材「ポーラスアルファ」は土壌改良資材として、国内・海外での実績を多く有する。日本の農業においては、高齢化が進むなど課題は多い。若手農業者の参入が少ない背景には収入面はもちろんあるが、長い労働時間や自然に左右されやすい産業であることも要因と考えられる。例えば、天水での農業では水やりが毎日の大きな負担となり、一泊旅行にも行きにくいといった声もある。とくに、鳥取においては砂地が多く、灌水管理の重要性は高い。そこで、「ポーラスアルファ」は土壌改良資材として利活用することで、実績からすると30~50%の節水が可能になり、労力の軽減にもつながる。

また、イネの育苗の際に、苗箱に添加することで、20%の増収にもつながる。特に、太平洋側に比べて日照が短い日本海側や中山間地域において効果的であることがわかっている。

一方で、すでに耕作放棄地の増加は大きな課題となっている。水稻栽培は特殊であり、湛水する必要があるため、田土壌は粘土質であるため、畑作にとっては水はけが非常に悪い。そこで、粘土質土壌の改良にガラス発泡材「ポーラスアルファ」を用いることで水はけのよい土壌に改良することができる。そこで、特産物になるような作物・果樹を栽培し、ブランドすることができれば、収入面の改善や耕作放棄地の減少にもつながる。

省力化や増収などが実現できれば、農業従事者の増加、ひいては耕作放棄に減少にもつながることが期待できる。

## 3. 植林

土壌改良の場合と同様に、植林の際に土壌にポーラスアルファを混合することで、根の活着・根はりの向上が期待でき、保水力の向上につながる。植林の場合、基本的には水は雨に依存するため、保水力の向上は苗木の健全な生育にとって重要である。また、植え付け時が最も環境負荷を受けやすいため、苗木の時期を適切に管理することができれば、生存率も向上する。

## 4. 景観整備

公園などの防草用途に景観整備として活用することができる。コンクリートや防草シートに比べ、原状復帰が容易である。脱炭素において重要な選択肢となる太陽光発電での、パネルの下の防草にも使用可能である。また、ビオトープなどの池底に敷設することで水質浄化も可能である。また、たい肥化の際にポーラスアルファを混合することで、たい肥化の時間短縮になるとともに、土壌改良効果をもったたい肥となる。

## 5. 畜産分野

農業だけでなく、畜産も重要な要素の一つとなる。畜産での大きな問題は臭いと排水である。ガラス発泡材「ポーラスアルファ」はアンモニア等の脱臭や畜産排水の水質浄化に



も実績がある。その環境中に存在する微生物を用いることが大きな特徴であり、微生物資材を添加する必要がない。したがって、持続可能であるうえに、微生物多様性の保全にもつながる。

## 6. 太陽光パネルのリサイクル

脱炭素を目指すうえで、太陽光パネル発電は重要な選択肢の一つである。一方で、耐久年数が20年とされており、その後の廃棄方法に大きな関心が寄せられている。ガラス発泡材「ポーラスアルファ」は独自の特許技術により、太陽光パネルガラスも原料とすることができる。したがって、利用から廃棄までの循環を考えた上での太陽光発電の選択は、他にない視点といえる。

ガラス発泡材「ポーラスアルファ」は様々な分野での活用が可能であり、基本的に物理性の改善と微生物の住処としての役割を持つ。本来そこに定着している微生物を活性化させるという効果での環境改善であり、微生物の多様性の保全という観点からも環境と調和した資材である。地域から出るガラスのリサイクル・資源循環に加え、脱炭素の大きな要素である太陽光パネルのリサイクルまで考慮できる資材であり、地域内での活用ができれば、ガラス廃棄物の利活用の全国ひいては世界へのモデルケースにもなり得る。

# 令和4年度

## 主要施策の成果



©青山剛昌／小学館

## 目 次

- 一般会計
  - 議会事務局、監査委員事務局 . . . . . 1 産業振興課 . . . . . 56
  - 総務課 . . . . . 4 観光交流課 . . . . . 71
  - 企画財政課 . . . . . 15 地域整備課 . . . . . 75
  - 町民課 . . . . . 20 教育総務課 . . . . . 82
  - 福祉課 . . . . . 26 生涯学習課 . . . . . 97
  - 健康推進課 . . . . . 39 中央公民館 . . . . . 108
  - 環境エネルギー課 . . . . . 48 図書館 . . . . . 112
  - 農業委員会 . . . . . 53
- その他
  - 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 . . . . . 115
- 特別会計・企業会計
  - 国民健康保険事業特別会計 . . . . . 119 大栄歴史文化学習館特別会計 . . . . . 129
  - 介護保険事業特別会計 . . . . . 121 後期高齢者医療事業特別会計 . . . . . 131
  - 農業集落排水事業特別会計 . . . . . 126 水道事業会計 . . . . . 132
  - 栄財産区特別会計 . . . . . 127 下水道事業会計 . . . . . 134
  - 合併処理浄化槽事業特別会計 . . . . . 128 風力発電事業会計 . . . . . 136
- 資料 編
  - 令和4年度各会計別決算状況 . . . . . 139
  - 令和4年度一般会計決算状況 . . . . . 140
  - 令和4年度普通会計決算状況 . . . . . 142
  - 財政状況・財政指標の推移 . . . . . 145
  - 財政健全化判断比率等の状況 . . . . . 150
  - 財政健全化判断比率の推移 . . . . . 158

款 2	総務費	項 1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額																								
		目 20 持続可能なまちづくり推進費	1,291千円	1,284千円																								
<p>①地域新電力推進事業 1,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鳥取県中部地域新電力構想検討事業</li> <li>(株)鳥取みらい電力へ出資金 1,000千円</li> </ul> <p>【成果】選定企業体と3町による協議を行い、民間主導・官民連携で新電力事業を行う(株)鳥取みらい電力が設立された。鳥取みらい電力は小売電気事業の資格を取得した。北栄町・琴浦町・倉吉市は鳥取みらい電力へ出資した。令和5年度から公共向けに電気(実質再エネ100%)供給開始。</p>																												
<p>②持続可能な発展を目指す自治体会議事業 284千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な発展を目指す自治体会議等負担金</li> <li>自治体相互視察(岩手県二戸市) 10/19~21、定例会(Web会議) 1/26</li> </ul> <p>【成果】人口減少、少子高齢化など同じ課題を持つ小規模自治体が地域資源を活かしたエネルギー分野の取組などを互いに学び、先進事例や情報を速やかに共有し北栄町の環境施策の立案に活かした。</p>																												
款 4	衛生費	項 1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額																								
		目 7 環境衛生費	16,938千円	14,827千円																								
<p>①環境衛生事業 1,376千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境審議会開催(3回実施:7/25,12/22,3/20)</li> <li>環境推進員会開催(3/8)</li> <li>クリーンランドほうき管理委員会開催(2/21)</li> <li>環境学習会             <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>開催数</td> <td>R2年度</td> <td>R3年度</td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td>3団体</td> <td>2小学校</td> <td>2小学校</td> <td>2小学校</td> </tr> <tr> <td>8自治会</td> <td>2自治会</td> <td>8自治会</td> <td>8自治会</td> </tr> <tr> <td>5団体</td> <td>1団体</td> <td>5団体</td> <td>5団体</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもエコクラブ活動支援補助金(町内の保育所、こども園、小・中学校等)             <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>活動人数</td> <td>R2年度</td> <td>R3年度</td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td>1,534人</td> <td>1,620人</td> <td>1,602人</td> <td>1,602人</td> </tr> </table> </li> </ul> </li></ul> <p>【成果】令和4年度から有曹ごみ(乾電池、蛍光管、充電電池一体型製品)の分別回収が始まりました。環境学習会(出前講座)の希望が多くあつた。有曹ごみの説明にあわせて町の取り組み、環境衛生事業の説明、啓発等を行い、住民の環境意識の高揚が図られた。</p>					開催数	R2年度	R3年度	R4年度	3団体	2小学校	2小学校	2小学校	8自治会	2自治会	8自治会	8自治会	5団体	1団体	5団体	5団体	活動人数	R2年度	R3年度	R4年度	1,534人	1,620人	1,602人	1,602人
開催数	R2年度	R3年度	R4年度																									
3団体	2小学校	2小学校	2小学校																									
8自治会	2自治会	8自治会	8自治会																									
5団体	1団体	5団体	5団体																									
活動人数	R2年度	R3年度	R4年度																									
1,534人	1,620人	1,602人	1,602人																									
<p>②広域連合負担金(火葬)事業 6,336千円</p> <p>斎場の管理運営に要した経費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中部ふるさと斎場 5,776千円</li> <li>琴浦斎場(相互利用負担金) 560千円</li> </ul> <p>【成果】中部ふるさと斎場の維持管理に寄与した。</p>																												
<p>③猫選任・去勢手術費補助金事業 700千円</p> <p>補助金申請件数・金額 34件 700千円</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>申請数</td> <td>R2年度</td> <td>R3年度</td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td>22件</td> <td>22件</td> <td>31件</td> <td>34件</td> </tr> <tr> <td>頭数</td> <td>72頭</td> <td>112頭</td> <td>80頭</td> </tr> </table> <p>【成果】「人と動物の共生」を理念に、飼い主のいない猫の繁殖を抑制することにより、生活環境の保全を図った。</p>					申請数	R2年度	R3年度	R4年度	22件	22件	31件	34件	頭数	72頭	112頭	80頭												
申請数	R2年度	R3年度	R4年度																									
22件	22件	31件	34件																									
頭数	72頭	112頭	80頭																									

④犬登録等事業 1,55千円		予 算 現 額	決 算 額												
<table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>予防注射済証発行</td> <td>R2年度</td> <td>R3年度</td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td>登録数</td> <td>486</td> <td>423</td> <td>458</td> </tr> <tr> <td></td> <td>637</td> <td>661</td> <td>607</td> </tr> </table>		予防注射済証発行	R2年度	R3年度	R4年度	登録数	486	423	458		637	661	607	23,332千円	21,839千円
予防注射済証発行	R2年度	R3年度	R4年度												
登録数	486	423	458												
	637	661	607												
<p>【成果】集団接種実施回数がコロナ禍前に回復した。犬の登録制度に基づき、狂犬病予防注射の徹底を図った結果、注射を受ける頭数が増えた。 ※R3からR4の登録数の減少については、登録台帳の整理による。</p>															
款 4	衛生費	項 1 保健衛生費	予 算 現 額												
		目 8 環境保全費	23,332千円												
<p>①再生可能エネルギー等導入事業 698千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>木質バイオマス協議会アトバイザー報酬費 25千円</li> <li>バイオマスボイラー成分分析手数料 663千円</li> <li>バイオマス産業都市推進協議会負担金 10千円</li> </ul> <p>B&amp;G海洋センターに導入した木質バイオマスボイラーの稼働を開始した。春～秋はブールの加温に利用し、冬季は館内の暖房に利用した。</p> <p>【成果】木材の有効活用、再生可能なクリーンなエネルギーの推進・活用が進んだ。また、ブールの利用期間の延長、館内の暖房により利用者の健康増進へ繋がった。</p>															
<p>②省エネルギー普及啓発事業 398千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「かんきょうチェックノート」配布(小学4年生) 84人(回収率 60.4%)</li> <li>配布 139人</li> <li>提出 84人</li> <li>DIY断熱ワークショップ開催 参加者12人</li> </ul> <p>【成果】小学4年生を対象に事前学習を行った上で夏休み「かんきょうチェックノート」を配布し、家庭でできる省エネルギーの取組を実践し、家族を含めた普及啓発ができた。 また、中央高等学園専修学校を会場に、町内事業者協力のもと実践式のDIY断熱ワークショップを行うことで、参加者に断熱の重要性と効果を体感してもらった。会場となった校舎の断熱化も図ることができた。</p>															
<p>③ゼロカーボン推進事業 9,999千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>脱炭素ロードマップ策定業務委託料 9,999千円</li> </ul> <p>脱炭素社会を原堀え、本町の地域特性を踏まえて地域課題の解決につながる再生可能エネルギーの導入や省エネ対策等の目標を定めるための調査・検討を行い、2050年までにゼロカーボンを実現するためのロードマップを策定した。</p> <p>【成果】ゼロカーボン実現のためにどのような取り組みが必要なのか明らかになった。住民対象のワークショップや事業者向け研修会を開催したことにより脱炭素への意識浸透につなげ、今後の取り組みを地域全体に広げる仕組みづくりの軸とすることができた。</p>															
<p>④創エネ設備等設置費補助金事業 9,372千円 ※風のまちづくり事業亦当4,687千円</p> <p>町内の住宅等に太陽光発電システムやその他の創エネ設備を設置する者に設置費用の一部を補助した。</p>															



断熱ワークショップの様子



太陽光発電システム		創エネルギー設備等	
年度	出力 件数	木質バイオマス 0件	太陽熱 蓄電池等 18件
R2	15	66.84kW 0件	0件 18件
R3	15	81.74kW 1件	0件 19件
R4	17	82.17kW 0件	廃止 18件

【成果】太陽光発電システムや創エネルギー設備設置費の一部を補助し、導入促進したことによ  
り、エネルギーの自家消費が増加し、化石燃料由来電力の消費削減につなげた。

⑥電気自動車急速充電器管理事業 351千円 ※風のまちづくり事業充当123千円  
・道の駅北条公園に設置している電気自動車急速充電器の管理を行った。  
・道の駅北条公園再整備に伴い電気自動車急速充電器を青山剛昌ふるさと館駐車場へ  
移転した。

【成果】EV車利用者の利便性を確保し、EV車の普及に貢献した。

⑦省エネ住宅リフォーム補助金事業 1,020千円 ※風のまちづくり事業充当1,020千円  
省エネ推進のため、断熱改修などの省エネリフォームに特化し、地元事業者要件も  
加えて改修費用の一部を補助した。

	R2年度	R3年度	R4年度
申請件数(件)	7	16	8
補助対象経費(千円)	3,840	11,209	4,789
補助金支給額(千円)	967	2,418	1,020

【成果】快適な住環境整備を図るとともに、家庭における省エネルギーを進めることがで  
きた。

款	4 衛生費	項	2 清掃費		予 算	現 額	決 算	額
			目	1 塵芥処理費				
①	塵芥処理事業	2,311千円						

・R5ごみ収集日程表作成 5,500部  
・リサイクルステーション管理  
・国坂兵士砂管場管理

②一般廃棄物収集事業 36,809千円  
ごみ収集所に排出される一般廃棄物の収集・運搬業務を委託した。

《収集量》 (単位:t)

	可燃ごみ	不燃ごみ	有書ごみ	可燃粗大	不燃粗大	びん	缶	小型家電
R2年度	3,162	133	-	205	79	86	19	26
R3年度	3,204	134	-	216	80	82	19	24
R4年度	3,146	101	4	187	61	75	19	26

③広域連合相合(ごみ)事業 90,532千円  
ほうきりサイクルセンター(ごみ処理施設)、グリーンランドほうき(最終処分場)  
の管理運営に要した経費

・ごみ処理費 86,866千円  
・最終処分場建設費 3,531千円  
・ごみ処理施設建設費 135千円

④再生資源収集委託事業 6,198千円  
再生資源の収集・運搬・処理業務を委託した。

《収集量》 (単位:t)

	ペットボトル	電池ステロール	雑誌	ダンボール	牛乳パック	新聞	古着
R2年度	21	3	76	40	1	74	39
R3年度	22	3	77	41	2	80	35
R4年度	24	3	70	41	2	76	36

《廃食用油回収実績》

	回収量(kg)
R2年度	10,427
R3年度	10,677
R4年度	8,279

⑤再生資源回収団体事業 603千円

再生資源の回収を行った団体に対し助成金を交付した。昨年度より3団体増えた。  
実施団体数 74 団体

《回収量》

	古紙	缶	びん
R2年度	168 t	24 t	1,628本
R3年度	161 t	23 t	1,021本
R4年度	159 t	24 t	780本

《廃棄物のリサイクル状況》

	総排出量	うち再生資源	リサイクル率
	①	②	②/①
R2年度	4,157 t	674 t	16.2%
R3年度	4,213 t	662 t	15.7%
R4年度	4,117 t	619 t	15.0%

⑥統一指定ごみ袋事業 6,446千円  
町指定ごみ袋作成  
大：250,000枚(500箱)  
中：200,000枚(400箱)

⑦海岸漂着物処理事業 2,932千円

海岸に漂着した廃棄物を撤去、処分するため沿岸16自治会に年3回程度の清掃活動  
を依頼して手数料を交付した。また、ボランティアで海岸清掃が行われる方々への協  
力、支援等を行った。

沿岸自治会実施状況

	のべ回数	参加人数
R2年度	41回	1,637人
R3年度	41回	1,675人
R4年度	45回	1,960人

⑧不法投棄対策事業 106千円

パトロールや不法投棄看板の貸出しの実施、また、廃棄物処分費用の補助を行った。

不法投棄防止啓発用看板

	貸出	看板作成	撤去事業等補助金 対象数	補助金額
R2年度	16カ所25枚	-	6件	346,000円
R3年度	4カ所5枚	50枚	-	-
R4年度	15カ所25枚	-	1件	15,000円

【成果】ごみの分別・収集を適正に行えるよう環境整備、体制を整えるとともに、ごみの  
減量化・再資源化に対し、普及啓発を行ったため、ごみの搬入量が減少した。  
地域の美化活動や不法投棄対策事業を推進することで、美しい環境を守るとも  
に、環境保全意識の高揚を図った。

【環境エネルギー課】

款	4 衛生費	項	2 清掃費	予	算	現	額	決	算	額															
		目	2 屎処理費	7,402千円	7,402千円	7,198千円	7,198千円																		
<p>①広域連合負担金(屎)事業 7,198千円                  クリーンセンター(屎処理施設)の管理運営に要する経費 435千円                  ・クリーンセンター費 6,763千円 ・施設建設費</p>																									
【成果】クリーンセンターの維持管理に寄与した。																									
款	7 土木費	項	4 住宅費	予	算	現	額	決	算	額															
		目	1 町営住宅管理費	9,212千円	9,212千円	8,126千円	8,126千円																		
<p>①町営住宅管理事業 7,622千円                  2団地105戸を管理。                  年度内の入居件数は34件、退去件数は6件で、3月末現在の入居率は86.7%となっている。                  ・修繕費 4,076千円 ・昇降設備保守 2,614千円                  ・消防用設備保守 279千円 ・日アリア防除 526千円                  ・町営住宅の入居状況(令和5年3月31日現在)</p> <table border="1"> <tr> <td>団地名</td> <td>管理戸数</td> <td>入居戸数</td> </tr> <tr> <td>由良宿団地</td> <td>60戸</td> <td>60戸</td> </tr> <tr> <td>六尾北団地</td> <td>45戸</td> <td>31戸</td> </tr> <tr> <td>町営住宅合計</td> <td>105戸</td> <td>91戸</td> </tr> </table>											団地名	管理戸数	入居戸数	由良宿団地	60戸	60戸	六尾北団地	45戸	31戸	町営住宅合計	105戸	91戸			
団地名	管理戸数	入居戸数																							
由良宿団地	60戸	60戸																							
六尾北団地	45戸	31戸																							
町営住宅合計	105戸	91戸																							
<p>②民間賃貸住宅家賃補助事業 504千円                  六尾北団地の用途廃止に伴い、民間賃貸住宅に移転された方への家賃補助を行った。                  【成果】適正に募集、管理し、入所希望者、入居者へ適切に住環境を提供した。</p>																									
款	7 土木費	項	4 住宅費	予	算	現	額	決	算	額															
		目	3 県営住宅費	697千円	697千円	645千円	645千円																		
<p>①県営住宅団地管理事業 645千円                  県から3団地22戸の管理委託を受けている。                  年度内の入居件数は1件、退去件数は2件で、3月末現在の入居率は90.9%となっている。                  ・県営住宅の入居状況(令和5年3月31日現在)</p> <table border="1"> <tr> <td>団地名</td> <td>管理戸数</td> <td>入居戸数</td> </tr> <tr> <td>栄第1団地</td> <td>8戸</td> <td>7戸</td> </tr> <tr> <td>栄第2団地</td> <td>8戸</td> <td>8戸</td> </tr> <tr> <td>大野団地</td> <td>6戸</td> <td>5戸</td> </tr> <tr> <td>県営住宅合計</td> <td>22戸</td> <td>20戸</td> </tr> </table>											団地名	管理戸数	入居戸数	栄第1団地	8戸	7戸	栄第2団地	8戸	8戸	大野団地	6戸	5戸	県営住宅合計	22戸	20戸
団地名	管理戸数	入居戸数																							
栄第1団地	8戸	7戸																							
栄第2団地	8戸	8戸																							
大野団地	6戸	5戸																							
県営住宅合計	22戸	20戸																							
【成果】適正に管理し、入居者、入居希望者に適切な住環境を提供した。																									
款	7 土木費	項	4 住宅費	予	算	現	額	決	算	額															
		目	9 費	6,169千円	6,169千円	5,800千円	5,800千円																		
<p>①六尾北団地用途廃止事業 5,800千円                  用途廃止に伴う調査設計業務の発注及び転居者への移転費用の補助を行った。                  ・調査委託料 5,720千円 ・入居者移転補償費 80千円                  【成果】調査設計及び円滑な移転を進め、用途廃止に向けた準備を進めることができた。</p>																									

【風力発電事業会計】

会	計	名	予	算	現	額	決	算	額
風力発電事業会計(収益的支出)	449,821千円	376,601千円							
<p>風力発電事業は、平成17年11月から本格運転を開始し、令和4年度で18年目を迎えている。                  1,500kW/9基 総定格出力 13,500kW</p>									
1. 収益的収入 (単位:円)									
事項	R2年度	R3年度	R4年度	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業収益	459,496,305	408,540,468	406,146,243	406,146,243	91.8%	406,146,243	91.7%	406,146,243	91.7%
財務収益	2,663,542	2,490,517	2,520,230	2,520,230	0.6%	2,520,230	0.6%	2,520,230	0.6%
事業外収益	49,413,033	33,951,531	34,271,890	34,271,890	7.6%	34,271,890	7.7%	34,271,890	7.7%
計	511,572,880	444,982,516	442,938,363	442,938,363	100.0%	442,938,363	100.0%	442,938,363	100.0%
2. 収益的支出 (単位:円)									
事項	R2年度	R3年度	R4年度	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業費用	295,857,847	389,653,563	358,980,479	358,980,479	96.2%	358,980,479	95.3%	358,980,479	95.3%
事業外費用	25,835,100	15,194,600	17,620,600	17,620,600	8.0%	17,620,600	4.7%	17,620,600	4.7%
計	321,692,947	404,848,163	376,601,079	376,601,079	100.0%	376,601,079	100.0%	376,601,079	100.0%
3. 視察・見学者 124人 (11団体)									
4. 年間発電量 17,994,960kWh 売電実績									
(単位:kWh)									
月	過去平均 売電力量 ①	年間推定 売電力量 ②	年間売電 電力量(実績) ③	過去平均と 売電力量 の比較 ③/①	過去平均と 売電力量 の比較 ③/②	過去平均と 売電力量 の比較 ③/①	過去平均と 売電力量 の比較 ③/②	過去平均と 売電力量 の比較 ③/①	過去平均と 売電力量 の比較 ③/②
R4.3	2,471,379	2,850,552	1,672,080	67.7%	58.7%	67.7%	58.7%	67.7%	58.7%
4	1,938,157	1,562,004	1,392,720	71.9%	89.2%	71.9%	89.2%	71.9%	89.2%
5	1,440,336	1,250,883	983,760	68.3%	78.6%	68.3%	78.6%	68.3%	78.6%
6	838,979	1,581,444	1,162,800	138.6%	73.5%	138.6%	73.5%	138.6%	73.5%
7	974,979	1,082,403	714,480	73.3%	66.0%	73.3%	66.0%	73.3%	66.0%
8	905,996	1,122,174	834,960	92.2%	74.4%	92.2%	74.4%	92.2%	74.4%
9	1,225,156	1,698,894	1,543,920	126.0%	90.9%	126.0%	90.9%	126.0%	90.9%
10	1,569,601	1,717,281	1,449,360	92.3%	84.4%	92.3%	84.4%	92.3%	84.4%
11	1,944,281	2,156,787	1,509,600	77.6%	70.0%	77.6%	70.0%	77.6%	70.0%
12	2,590,773	2,678,832	2,720,880	105.0%	101.6%	105.0%	101.6%	105.0%	101.6%
R5.1	2,427,080	3,805,380	1,962,240	80.8%	51.6%	80.8%	51.6%	80.8%	51.6%
2	2,321,372	2,425,950	2,048,160	88.2%	84.4%	88.2%	84.4%	88.2%	84.4%
年計	20,648,089	23,932,584	17,994,960	87.2%	75.2%	87.2%	75.2%	87.2%	75.2%
【成果】風力発電施設の適正な管理を行ったことで、年間7,540tのCO <sub>2</sub> を削減した。 また、純利益は63,847,284円となった。									

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額	
風力発電事業会計(資本の支出)	100,000千円	100,000千円	
1. 資本的收入			
なし			
2. 資本の支出 (単位:円)			
事項	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
	構成比	構成比	構成比
建設改良費	29,731,331	0	0
	22.2%	0.0%	0.0%
基金積立金	104,471,343	100,000,000	100,000,000
	77.8%	100.0%	100.0%
計	134,202,674	100,000,000	100,000,000
	100.0%	100.0%	100.0%
(内訳)			
○基金積立 100,000千円			
3. 基金 (単位:円)			
R3年度末残高	新規積立	取り崩し	R4年度末現在高
882,654,735	100,000,000	0	982,654,735



《ごみ処理及び資源化の流れ(北栄町)》

※数値は令和3年度実績に基づく。

